



～歴史的建築物を上手に残して行こう～



昨年7月、「デザイン都市・神戸」のシンボルとして、旧神戸生糸検査所の建物が取得されました。歴史的建築物を保全・継承するための一つの手段として、現在条例の改正が提案されています。まちなみの保存と経済活動は相反する場合がありますが、条例の改正によってどのように具体的に進められるのですか？

市当局：歴史的建築物の活用を促すことで、維持管理の経済的負担を軽減したり、まちづくりに貢献したりできる。しかし、用途変更のためには、建築基準法上、価値ある部分の改修が必要となる場合がある。例えば現行基準に適合しない優れた装飾の階段を残したい場合に、「景観形成重要建築物」の指定と安全性を考慮した「保存活用計画」の策定を行い、改修等の現状変更を許可制とすることで、基準法の適用除外を行い、重要な部分を残しながら新たな用途にも建物を活用できるよう都市景観条例を拡充する予定。

旧神戸生糸検査所



旧館（市立生糸検査所）

新館（国立生糸検査所）



旧神戸生糸検査所は、これより改修が行われ、「仮称・デザインクリエイティブセンター」としてオープン予定です。建物の旧館は、かつての神戸市営繕課長・清水栄二氏によって設計されましたが、他にも、数々のデザイン性ある建築物を設計しています。

清水栄二 ～経歴～

- 明治 28 年 武庫郡六甲村生まれ
- 大正 7 年 東大工学部建築科卒業
- 大正 10 年 神戸市役所勤務
土木課長、営繕課長
- 大正 15 年退職後、清水建築事務所

現在も残る建築作品

- ・旧駒ヶ林町公会堂（1924 年）…現・駒ヶ林保育所
- ・旧西尻池公会堂（1926 年）…旧・ワシオ外科
- ・旧市立生糸検査所（1927 年）
- ・高嶋邸（1930 年）…現・甲南漬資料館
- ・御影公会堂（1933 年）



市内を回って写真を撮ってきました！

デザインと共に、大正から昭和初期にかけて設計・施工された建物の多くが、震災を乗り越えて残ったことにも、注目すべきではないかと思ひます。

アーチ型の屋根、三角の出窓など、同時期に設計された二つの建物は、よく似た特徴を持っていますね。



生糸検査所の建物として、蚕の頭をデザインした装飾が施されています。



「海外移住と文化の交流センター」について



旧神戸移住センターは、昨年、耐震改修を終えて新しくオープンしました。神戸の港から移民船が出ていたことは、誰もが知っている歴史ではなくてきています。日本に住む私たちは、このセンターを通じて、かつて見知らぬ世界に足を踏み入れ、大地を耕し、コーヒーや綿の栽培に励んだ移民の人々の歴史や文化を学んだうえで、現在の南米の状況や日系人の方々のことを知り、そして広く南米の国々との交流を図り、未来へとつなげていくのが大切だと考えます。

ブラジル・ポリビア・ペルーなどの民芸品の展示・販売や音楽コンサートの開催、南米の料理やお菓子を提供することで南米を感じ、移民の歴史や文化を知りたくなるシンボルを目指し、観光コースに組み入れてはいかがですか？

市当局：「海外移住と文化の交流センター」として再整備し、海外移住の歴史と意義の継承や多文化共生のまちづくりの拠点施設として昨年6月に再オープンした。南米のお祭りやコンサートの開催は集客効果が期待できる。今後も様々なイベントが予定されており、ご提案の特産物の販売等についてもリピーターや新たな観光客等呼び込む有力な方策として、現在、指定管理者が検討を行っているという。



ポリビアのお祭りをみてきました！ユニークな衣装を着たダンスなど、興味深かったですよ！



甲南漬資料館（旧高嶋邸）東灘区



御影公会堂 東灘区



御影公会堂の地下食堂～オムライスで有名です。



旧西尻池公会堂（旧ワシオ外科）長田区



旧神戸生糸検査所 中央区

〒655-0034 神戸市垂水区仲田 3-1-8-202 (垂水支部) 神戸市会議員 川原田弘子事務所
TEL&FAX 078-709-8998
e-mail: happy@hiroko-club.com
URL: <http://www.hiroko-club.com>

ご相談はこちら



〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
民主党神戸市会議員団
TEL 078-322-5844
FAX 078-322-6161

